

平成29年度 事業計画体系表

1 利用者本位のサービスの提供

(1) 施設機能の充実

- ①高齢者福祉サービス制度改正への対応
- ②個別ケアによる生活の質の向上、生きがいのづくりの推進
- ③地域医療との連携によるターミナルケア（看取り）の実践

(2) 利用者の人権と個人の尊厳に配慮したサービスの提供

- ①人権の擁護
- ②サービス評価の実施
- ③利用者個別支援の実践

(3) 利用者にとって安全で安心なサービスの提供

- ①リスクマネジメント体制の推進
- ②**拡** 防犯体制の強化

2 地域で支え合う仕組みづくり

(1) 地域で安全・安心に暮らすことのできるサービスの提供

- ①居宅サービス事業の実施
- ②**拡** 認知症対応型グループホーム「村いちばんの元気者」の運営
- ③在宅介護支援センターの運営

(2) 地域に開かれた施設運営

- ①社会貢献事業の推進
- ②丹寿荘高齢者ケアセミナー・福祉教育等の実施
- ③地域ふれあいの集いの開催
- ④ふれあいギャラリーの実施
- ⑤丹寿荘運営推進会議の開催
- ⑥災害時における緊急受け入れ体制の整備
- 新** 日常生活支援総合事業への参入

3 医療と福祉の連携による事業推進

(1) 医療・福祉の連携事業の実施

- ①認知症高齢者地域ケアの実践
- ②認知症カフェ「まごころ」の運営
- ③セラピストと連携したサービスの提供

- ④リハビリ訓練の充実
- (2) 高齢者の医療・福祉に関する専門的情報の発信
ホームページの活用と適宜更新

4 人材育成と働きがいのある職場づくり

- (1) 人材の確保・育成
 - ①支援員・看護師等確保対策の実施
 - ②自立型組織を担う人材の育成
 - ③介護福祉士等の資格取得の推進
 - ④認知症介護に係る専門人材の育成
- (2) 人事・組織マネジメントの強化
 - ①ガバナンスの推進
 - ②情報公開・情報提供等による経営の公正・透明化
 - ③メンタルヘルス対策の充実

5 経営基盤の安定・強化

- (1) 事業推進体制等の強化と財務管理の徹底
 - ①☐ 事業推進体制の強化
 - ②☐ 事業目標管理の強化
 - ③経営収支の情報共有と収支改善への取り組み
- (2) 経営目標の設定
 - ①特養及びグループホームの稼働率の維持・向上
 - ②居宅サービス事業系の稼働率等の維持・向上